

アルジェリア政治・経済月例報告
(2016年7月)

平成28年8月
在アルジェリア日本国大使館

1. 内政

● ブーテフリカ大統領の動静

5日、ブーテフリカ大統領は、第54回独立記念日に際して、殉教者記念塔を往訪し、献花を行った。また、26日には、6月に行われた一部内閣改造後の初の閣議を開催、高位の公職をアルジェリア単一国籍者に限定する憲法第63条を受けた、これら公職を限定する法律を承認した。報道によれば、これら公職には、両院議長、首相、閣僚、憲法評議会議長等を含む。また、早期退職を規制する法律も承認された。

● 議会の春会期の終了

21日、今会期で最後となる春会期が終了した（改正憲法により、今後会期は1会期制となる見込み）。今会期では、国民議会（下院）、及び国民評議会（上院）で、改正憲法を受けた、選挙法、選挙監視高等機構法、両院関係法、の改正案や、退役軍人の公的発言を制限する法律改正案など、重要な法案が審議され、採択された模様であるが、法案の詳細は、公表されていない。今後、大統領による公布が待たれる。

● ハバル社関連裁判の判決

15日、裁判所は、レブラブ・セビタル社長による独立系アラビア語ハバル紙の買い取り契約を無効とする判決を下した。また、18日には、政権を風刺する番組を制作した KBC テレビ社長、及び同局制作責任者を執行猶予付懲役6ヶ月、番組の許可を与えた文化省局長に執行猶予付懲役1年の判決を言い渡した。これで、これまで政権に対抗する動きとして国内で注目されたハバル社（ハバル紙、KBC テレビを保有）関連の一連の事態は収束する見込みとなった。

2. 外交

● ガーリ「サハラ・アラブ民主共和国」新大統領、モロッコ外相等の来訪

13日、セラル首相はアルジェにある迎賓館で、9日に選出されたブラヒミ・ガーリ「サハラ・アラブ民主共和国」新大統領・ポリサリオ戦線事務局長と会談した。セラル首相は、西サハラ住民が民族自決権という正当な権利を行使で

きるよう定めた国連決議に基づき、西サハラ問題が解決されるべきとのアルジェリアの立場を改めて表明した。会談には、ガイド・サラ副国防大臣兼国軍参謀総長及びメサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣が同席した。

また15日、ブーテフリカ大統領宛のモロッコ国王モハメド6世のメッセージを持ったブリタ・モロッコ外務・協力大臣付特命大臣が当地を来訪し、セラル首相と面会した。両者は、アフリカ及びアラブ世界が直面する課題に向けた二国間関係や、地域の安全、とりわけテロ及び国境をまたぐ犯罪対策、移民問題、開発問題について意見交換した。会合には、アルジェリア側より、メサヘル・マグレブ・A U・アラブ連盟大臣とタルターグ治安諸機関調整担当大統領付顧問が、モロッコ側よりマンスーリ対外情報機関総局長とベルカズィーズ駐アルジェリア・モロッコ大使が同席した。

● ブリンキン米国務副長官の来訪

23日、ブリンキン米国務副長官がアルジェを来訪し、セラル首相、ラマムラ外相と会談し、政治、社会、経済、治安分野における両国関係について協議した。ラマムラ外相によれば、同国務副長官との会談は、アルジェリア・米国民間の戦略対話の一環をなすものであり、ブリンキン米国務副長官は、アルジェリアの地域における先駆性を高く評価し、両国間で拡大を続ける深い関係を賞賛した。また、ラマムラ外相は、本年の独立記念日に際しては、東京に駐在するキャロライン・ケネディ米国大使から祝福のメッセージが届いたことを明らかにし、「メッセージの中で同駐日米大使は、アルジェリアの解放を支持していた父親のジョン・F・ケネディ元大統領への共感を表していたが、これは米国民が我々と同じ価値と目的を固持していることを示すものである」と述べた。

● モロッコのA U加盟を巡る政府要人の発言

17日からルワンダで開催されたA U総会にモロッコ国王の書簡が提出され、モロッコのA U再加盟に向けた動きが報じられる中、アルジェリア外務省はセラル首相、ラマムラ外相、メサヘル・マグレブ AU アラブ連盟大臣の発言を引用するプレス・リリースを発表し、A U制定法によれば、A Uに加盟を希望する国家は条件付きでこれを行うことができないこと、同制定法においては、憲法に反するような体制変更という例外を除けば参加停止は規定されていないこと、また、A Uの創設メンバー国の一つである同「アラブ・サハラ民主共和国」の参加停止を求めるようなことは問題外である、とのアルジェリア政府の立場を表明した。

3. 治安

● アルジェリア・テロ情勢

仏週刊誌ジュンヌ・アフリック7月10日号は、アルジェリアのテロ情勢に関するルポルタージュ（ファリード・アリラット特派員執筆）を掲載した。同ルポルタージュによれば、国際的反響の大きかったカビリー地方における仏人登山家の誘拐・殺害事件により、アルジェリア国内におけるテロ掃討作戦が加速され、軍司令部発表によれば、本年上半期テロ対策で、殺害テロリストは107人に上り、約30人が投稿し、テロ支援者が80人逮捕されるとともに、260箇所にあつた潜伏場所・武器爆弾製造所が発見された。国内の残存テロリストの潜在的攻撃能力、人数及び活動地域は大幅に制限され、1990年代半ばに2万3,000人近くを数えたテロリストは、現在800人足らずと諸筋は算定している由。主に東部のカビリー地方、中部及び西部の一部の限られた地域に潜伏している模様。

● 警察庁による「特殊部隊」の設立

24日、警察庁設立54周年記念、及び警察大学校卒業式がオランで行われ、バダウィ内務大臣及びハーメル警察庁長官が参加し、同時に、警察庁に付属する「特殊部隊」の設立が明らかにされた。同部隊の任務は、都市部におけるテロ対策や過激化対策を始め、広く犯罪対策を行うものとされ、報道によれば、昨年に行われた治安機構改革の一環として解体された「即応部隊」の後継部隊となる由。

4. 経済

● ソネルガス社による開発5カ年計画

国営電気・ガス公社ソネルガス社の2016年-2020年の開発5カ年計画によると、同社は、2015年末時点で1万7,636メガワット（MW）の発電量を、2016年から毎年13.9%ずつ増加し、2020年には3万3,778MWの発電を目指している。同社は、右目標達成のために、2020年までに2兆3,770万アルジェリアン・ディナール（DA）を発電所の増築及び既存施設の修繕・補強に投資すると発表した。

● 2016年上半期の貿易赤字

国家統計局の発表によると、2016年上半期の貿易赤字は108億3,000万ドルを計上し、対前年同期比27.2%増となった（前年同期は85億1,000万ドル）。輸出額は126億8,000万ドル（前年同期が189億3,000万ドル）、輸入額は235億1,000万ドル（前年同期が274億4,500万ドル）。

●イナメナス・ガスプラントの第3系列が再稼働

国営炭化水素公社ソナトラック社の発表によると、2013年1月のテロリストによるイナメナスのガスプラント襲撃事件の際に破損した第3系列に関し、ペトロファック社とサルピ社の修理工事により、近日中に同系列が再稼働する見込みとなった。修理費用は8,000万ドル。ガス生産量は日産900万立方メートル。

●2016年上半期の自動車輸入額

税関当局の発表によると、2016年上半期の自動車輸入額は6億9,100万ドルで、対前年同期比67.53%減となった（前年同期は21億3,000万ドル）。輸入台数に関しては、4万7,484台で、対前年同期比73.63%減となった（前年同期は18万82台）。輸入台数上位5メーカーは以下の通り。

メーカー	輸入台数	輸入額
1. ルノー	1万5,026台	1億4,000万ドル
2. プジョー	9,119台	9,000万ドル
3. ソヴァック	5,714台	8,100万ドル
4. キア	3,301台	2,800万ドル
5. 日産	2,277台	4,300万ドル

5. 我が国との関係

●南シナ海を巡る中比仲裁裁判を巡るアルジェリアの立場

16日、外務省は声明を発表し、南シナ海に関する紛争についてアルジェリアは「国際法」に基づき解決されるべきことを呼びかけた。同声明では、「アルジェリアは、和平と安全を促進させ、これを維持することが必要不可欠であると考え、また、その外交活動の依拠している原則に基づき、国際法を根拠とした冷静かつ友好的な環境の下での交渉を通じた意見の相違の平和的、公正かつ合意に基づく解決への努力を支持する」、「アルジェリアは、南シナ海に隣接する両国にとっての同海洋の重要性と関心を認識しているが、古来からの強い友好関係にある両国が善意を持って、地域の和平と安全及び安定を維持するような、前向きな協議と対話を行うよう努力することを期待する」としている。

●神奈川県相模原市の障害者施設殺傷事件に対するブーテフリカ大統領発帛電

26日、ブーテフリカ大統領は、天皇陛下、及び安倍総理に対して、書簡を

発出した。同書簡では、「深い悲しみをもって、19人の死者、25名の負傷者を出した相模原の障害者施設を標的にした残虐な事件の報に接した」とし、「この卑劣な行動を強く非難しつつ、アルジェリア国民及び政府を代表し、また私個人からも被害者のご家族に哀悼の意を表すとともに、負傷者が速やかに回復することを心より祈念する」とのメッセージを伝えた。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
7月8日	イタリア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第2回イタリア・アルジェリア戦略対話に出席
7月11日	ロシア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第1回ロシア・アルジェリア戦略対話に出席
7月13日	ルワンダ	ラマムラ外務大臣	第27回AUサミット定例会合閣僚級準備会合に出席
7月17日	ルワンダ	セラル首相	第27回AUサミット定例会合に出席
7月23日	モーリタニア	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	第27回アラブ連盟首脳会議閣僚準備会合に出席
7月25日	モーリタニア	ベンサラ国民評議会議長	第27回アラブ連盟首脳会議に出席
7月29日	中国	メサヘル・マグレブ・AU・アラブ連盟大臣	アフリカ・中国協力フォーラム調整役委員会会合及び首脳会合に出席、中国外相と会談等

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
7月11日	ガーナ	グベホ外務大臣特使	セラル首相、ラマムラ外務大臣と会談等

7月11日	中国	呉外務大臣特使	ラマムラ外務大臣 と会談等
7月13日	「アラブ・サハラ民主共和国」	ガーリ大統領	セラル首相、ガイ ト・サラ国防副大臣 と会談等
7月14日	モロッコ	ブリタ外務・協力大臣付 特命大臣、マンスーリ調 査分析総局（DGED） 総局長	セラル首相と会談 等
7月22日	米国	ブリンキン国務副長官	セラル首相、ラマム ラ外務大臣等と会 談
7月26日	ニジェール	ヤクブ外務大臣	セラル首相、ラマム ラ外務大臣等と会 談
7月27日	「アラブ・サハラ民主共和国」	ワラドサーリク外相	ラマムラ外務大臣 と会談

(了)